

平成 30 年度地方隊友会長等会同 議事録

1 日 時

平成 31 年 3 月 8 日(金)1300～1500

2 場 所

ホテルノースシティ 2 階 「藻岩」の間

3 参加者

道隊連会長 酒巻尚生、副会長 堀口英利、佐藤法夫、五味眞司、尾形清登

札幌会長 若月寿一、千歳会長 菊池伯、旭川会長 四月朔日徹、帯広副会長 末盛真一、函館会長 笹森時太郎

他、道隊連参与・理事役、札幌副会長、事務局長 合計 36 名

4 審議事項

(1) 隊友会における不易流行とは

千歳（資料あり：略）、帯広、函館（資料あり：略）、旭川、札幌の順に準備した事項の発表、その後、酒巻会長から準備したプレゼンの提示

「不易」とはいつまでも変わらないこと、「流行」とは時代時代に応じて変化すること解される。隊友会における「不易」は架け橋としての地位付け、であり、「流行」は架け橋としての役割・行動であろう。

先の集団的自衛権、安全保障法制等の国民的議論が活発だったころに隊友会は「不易流行」への対応をすべきではなかったか、などの意見が交わされた。

(2) 平成 31 年度のブロック研修会について

昨年度は 50 回記念の研修で、研修事項は陸海空北部 3 自衛隊指揮官講話を目玉として実施し、大成功を収めることができた。

来年度は、51 回目となり次なるステップへの初年度となる。

これまで 5 個地方隊友会の持ち回りでの実施から、今のような形で道央地区での実施（札幌・千歳の支援受け）となり、道隊連本部が主体となり研修事項を設定してきた。次回からは、各地方隊友会も道隊連の一員であるので、その意識を持ってもらいたいと思うので、北海道隊友会全員で作り上げる研修会としたい。

キャッチフレーズは「各地方隊友会のお国自慢」ということで、各地方隊友会に 30 分以内として時間を割り当てるので、各地方隊友会が、演芸でもなんでもいいので、やりたいことをやってもらいたい、と思うが、これに対しての意見はいかがか？

異議なし。よって、承認されたものと認める。

次のブロック研修会からは各地方隊友会 30 分以内の発表事項ということで実施する。

(3) 平成30年度事業報告(案)

案のとおり承認・議決

(4) 平成31年度事業計画(案)

案のとおり承認・議決

(5) 人事案件

私(酒巻)は道隊連会長を本日をもって下番し、後任は堀口副会長にやってもらいたいと思う。

以降私は、地域担当執行役として当面残るが、口出しあはないので堀口新会長の下で道隊連を運営してもらいたい。

これについてはいかがか?

異議なし。よって承認されたものと認める。

武山地域担当執行役は下番し顧問へ。堀口副会長が新道隊連会長兼ねて新地域担当執行役へ上番。本人事案件は本部承認事項であるので、後日本部へ上申する。

(6) O B活用の具体的方策について(連絡事項)

後段の総監部との連絡調整会同で、北村理事役から細部説明させるが、「O B活用」についての具体策を作成したので、確定事項ということではなく、たたき台として、やりながら不具合なところがあれば改善しながらやっていこうというものであるので、これを踏まえて聞いてもらいたい。

以上、議事録として作成・保存(H31.3.20)

文責：道隊連事務局長 牧野正美

酒巻会長、堀口副会長 指導受け・了解済み(H31.3.20)